



データシート

# NetApp ONTAP Select

ハイブリッド クラウドに最適なソフトウェア定義型の  
データ ストレージ サービス

## 主な特長

### 柔軟に導入可能

- 汎用サーバ、ハイパーバイザー、SSDやHDDのメディアなど、導入先を柔軟に選択可能
- 既存のサーバインフラ、HCI構成、外付けアレイを活用してエンタープライズ データ サービスを実現
- NetApp® ONTAP®ソフトウェアで全ストレージを一貫的に管理。運用管理を簡易化し、トレーニングコストを削減

### クラウド並みの即応性

- クラウドのような即応性でストレージ リソースをすばやくスピン アップ。調達から導入までのプロセスがわずか1日で完了
- ストレージ容量をすばやく動的に追加。1TB単位での増量に対応
- システムを停止することなく、ハイブリッドクラウド全体で容易にデータを移動、レプリケート

### エンタープライズクラスの機能

- 業界をリードするデータ管理プラットフォーム、ONTAPを基盤とするソフトウェア定義型のストレージ
- NASとSANの両ワークロードに対し、エンタープライズクラスのデータ削減機能とデータ保護機能を提供
- MetroClusterを使用すれば、複数のサイトに構築したSoftware-Defined Storage間で、ONTAP Selectによるシステム停止のないデータ可用性が実現。サイト同士の距離は10キロメートルまで対応可能

## ネットアップを基盤にデータセンターを構築

### ONTAPのデータ管理機能を活用してIT環境を設計

昨今、ITの即応性向上を求める声は強まっており、多くの企業がクラウドの導入を検討しています。たとえば、クラウド ストレージでは、すばやく容易にストレージをスピン アップし、容量をきめ細かく増減することが可能です。しかし、企業によっては、重要なデータをクラウドに保存できない場合もあるでしょう。データ保持に関する規制やポリシーによって、データをオフサイトに保存することが禁止されている場合もあれば、導入が手軽な反面、クラウドにデータを保存することが結果的に割高になってしまう場合もあるからです。また、クラウドに預けたデータを社内に戻す際、時間的、金銭的に多大なコストの負担を強いられるケースもあります。

NetApp ONTAP Selectを使用すると、強力なエンタープライズ ストレージ サービスを任意のコモディティ ハードウェアに導入し、自社のデータセンターで運用することが可能になります。NetApp ONTAP Selectは、優れた即応性ときめ細かな容量拡張というクラウド ストレージのメリットと、高い柔軟性、耐障害性、ローカル保存という自社運用ストレージのメリットを兼ね備えています。

### 最適な方法でNetApp ONTAPを導入

#### 柔軟なストレージ構成でソフトウェア定義型のストレージ インフラを構築

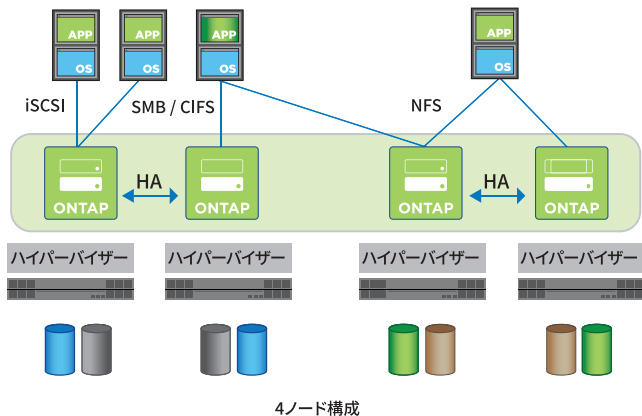
ONTAP Selectを使用すると、SSDやHDDといったサーバの内蔵ディスクドライブ、HCI、外付けアレイ ストレージが即応性と柔軟性に優れたストレージ プラットフォームに生まれ変わり、NetApp ONTAPを搭載した専用ストレージ システムと同様のメリットが数多く実現します。ONTAP Selectを新しいサーバや既存のサーバインフラに導入すると、より柔軟な管理が可能になります。ONTAP Selectは、ONTAPを基盤とするすべてのネットアップ ソリューションと同じ管理ソフトウェアを使用して効率よく管理できるため、運用上のオーバーヘッドやトレーニング コストは最小限に抑えられます。

### コストを増やすことなく生産性を向上

#### 自社のデータセンターでクラウド並みの即応性を実現

新しいアイデアを試したり、コンセプト実証を実施したりする際、すぐに新しいハードウェアを用意できるとはかぎりません。このような場合、ソフトウェア ソリューションであるONTAP Selectなら、1日のうちに調達、導入し、新たなプロジェクトをすばやく開始できます。

容量はノード単位（仮想マシンのインスタンス単位）でライセンスされ、1TB単位での増量に対応できます。ONTAP Selectの容量は、ONTAP Select仮想マシンに接続されている仮想データ ディスクの合計サイズに応じてライセンスされます。そのため、数TBの容量から始め、プロジェクトの進捗に合わせて動的に容量を追加していくことが可能です。ONTAP Selectは、OpenStackやVMware vSphereなどのクラウド管理フレームワークに容易に統合でき、ファイルサービス、ホーム ディレクトリ、ソフトウェア開発環境、アプリケーションテストといった新しいプロジェクトを効率よく実施できます。



4ノード構成

図1) ONTAP Selectを使用すると、クラウドのような即応性を備えたエンタープライズクラスのストレージサービスを、任意のコモディティハードウェアやハイパーバイザーで提供できます。図に示したのは4ノード構成のシステムです。

テスト環境を手早く立ち上げて新しいアイデアを試し、その後で専用ストレージプラットフォームに移行して本番環境の構成で運用する、あるいは開発規模を拡大するためにクラウドへ移行する、という場合には、NetApp ONTAP SnapMirror®が便利です。このソフトウェアを使用すると、ハイブリッドクラウド上のONTAPストレージ間で容易にデータを移動できるため、いつでもすばやく簡単に適切なストレージのデータにアクセスできます。

### エンタープライズクラスのデータ保護機能とデータ効率化機能 NetApp ONTAP Snapshotソフトウェアと

#### MetroCluster Software-Defined Storageで、データを確実に保護

ONTAP Selectは、業界をリードするストレージソフトウェア、ONTAPを基盤としており、効率的で可用性に優れたシェアードナッシング型のスケールアウトアーキテクチャに基づくエンタープライズストレージサービスを提供します。ノード構成は1ノード、2ノード、あるいは4ノードに拡張でき、物理容量は最大400TBにまで対応可能です。NFS、SMB / CIFS、iSCSIでストレージを接続できます。また、重複排除機能と圧縮機能が標準搭載されているため、実効容量を増やしてストレージコストを削減できます。ONTAP Selectのスケールアウトアーキテクチャは、可用性を向上させるだけでなく、無停止でのデータ移動を可能にします。そのため、負荷分散やハードウェアのメンテナンスの際にもシステムを停止させる必要がありません。

ONTAP Selectは、NetApp Snapshot®とSnapMirrorソフトウェアの強力な統合データプロテクション機能を備えており、重要なデータを迅速かつ効率的に他のONTAPストレージにレプリケートできます。ストレージの配置場所は、自社のローカル環境、リモートサイト、クラウド環境を問いません。データを速やかにリカバリする必要が生じた場合には、NetApp ONTAP SnapRestore®ソフトウェアを使用して、ローカルのSnapshotコピーからファイルシステム全体または特定のデータボリュームを、容量やファイル数にかかわらず、わずか数秒でリカバリできます。

MetroCluster Software-Defined Storageは、互いに離れた場所に設置されたHAノードペア間で同期レプリケーションを実行できる、柔軟な自動化ソリューションです。HAノードペアをマルチサイトコンピューティング環境に構築することも可能で、サイト間の距離は10kmまでサポートされます。そのため1つのサイトがダウンしても、それまでどおりデータにアクセスし、サービスを提供し続けることができます。

### サーバ上にデータセンターを構築

#### サーバ1台で運用できるブランチ オフィス データセンター

ONTAP Selectを使用すれば、リモートサイトやモバイル環境など、設置スペースやIT担当者によるサポートを十分に確保できないさまざまなユースケースで、エンタープライズストレージをコスト効率よく導入できます。このため、機能面で妥協することなく、リモートサイトから共有ITインフラをフル活用できます。

	Standardライセンス	Premiumライセンス
<b>主な機能</b>		
ホストプロトコル	NFS、SMB / CIFS、iSCSI	NFS、SMB / CIFS、iSCSI
導入オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>シングルノード</li> <li>2ノードクラスタ (HAペア)</li> <li>4 / 6 / 8ノードクラスタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シングルノード</li> <li>2ノードクラスタ (HAペア)</li> <li>4 / 6 / 8ノードクラスタ</li> </ul>
サポートされる容量 (ノードあたり)	物理容量で最大400TB (ESX)、100TB (KVM)	物理容量で最大400TB (ESX)、100TB (KVM)
<b>ハードウェア要件</b>		
CPUファミリー	Intel Xeon E5-26xx v3 (Haswell) 以上	Intel Xeon E5-26xx v3 (Haswell) 以上
CPUコア (ONTAP Select)	仮想CPU × 4	仮想CPU × 4または8
メモリ (ONTAP Select)	16GB RAM	16GB RAMまたは64GB RAM
ネットワーク (ノードあたり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小1GbEポート × 2 (シングルノード)</li> <li>最小1GbEポート × 4 (2ノード)</li> <li>最小10GbEポート × 2 (4 / 6 / 8ノード)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小1GbEポート × 2 (シングルノード)</li> <li>最小1GbEポート × 4 (2ノード)</li> <li>最小10GbEポート × 2 (4 / 6 / 8ノード)</li> </ul>
<b>ストレージの種類</b>		
RAIDコントローラ搭載	12Gbpsのスループットと512MBの内蔵バッテリバックアップ式キャッシュまたはフラッシュ (スーパーキャパシタ) キャッシュを備えたハードウェアRAIDコントローラ	12Gbpsのスループットと512MBの内蔵バッテリバックアップ式キャッシュを備えたハードウェアRAIDコントローラ
ローカルDAS	ディスクの種類: SSD	ディスクの種類: SAS、NL-SAS、SATA
	8 ~ 24ディスク (外付けアレイに最大60ドライブ)	4 ~ 24ディスク (外付けアレイに最大60ドライブ)
ハイパーコンバージドインフラ	NetApp HCI、VMware vSAN 6.0、6.1、6.2	
外付けアレイ*	FC、FCoE、iSCSI、NFS (ESXのみ)	FC、FCoE、iSCSI、NFS (ESXのみ)
サポートするハイパーバイザー (ベアメタル)	VMware vSphere 5.5、6.0、6.5 (すべてのライセンス) KVM - Red Hat Enterprise Linux 7.2 / 7.3、CentOS 7.2 / 7.3	
管理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>NetApp OnCommand®管理スイート</li> <li>ONTAP Select Deployユーティリティ</li> <li>SnapCenter® (オプション)</li> </ul>	

\*サポートされる外付けアレイのプロトコルはネットワークストレージの接続性により異なります。

表1) ONTAP Selectには2つのライセンスオプションが用意されており、多様なハードウェアに導入できます。サポートされるハードウェアおよびソフトウェアバージョンの最新情報については、NetApp Interoperability Matrixツールをご覧ください。

### ネットアップについて

ネットアップは、ハイブリッドクラウドのデータに関するオーソリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッドクラウドデータサービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図るよう、パートナー様とともに取り組んでいます。詳細については、[www.netapp.com/jp](http://www.netapp.com/jp)をご覧ください。#DataDriven

### ネットアップ合同会社

TEL:03-6870-7600 Email:ng-sales-inquiry@netapp.com

© 2018 NetApp, Inc. All Rights Reserved. NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。DS-3769-0318-jpJP